

年間のホームの出来事 (2014年11月1日～2015年3月31日)

2014年

- 10月24日 卒園生スウィーティ結婚
- 11月3日 会長帰国
- 15日 簿記の補習授業開始
- 22日 磯野共余様、畑めぐみ様、畑さち子様来訪



- 12月4日 6歳女児ライマ入園
- 8日 コニカ アクタルさんカランマとして就任
- 17日 ミトゥ12才、シャンタ7才の姉妹入園
- 30日 18か月男児ラフィ入園



ラフィはマのモモタズさんを本当の母と思っています。誰かが彼女が私の母だと言うとすごく怒ります。彼女が外へ出ようとするたびに泣きながら後を追います。彼女と一緒にいるととても幸せです。



31日 シブリー卒園就職

2015年

- 1月4日 ボッダ家の母モモタズさん突然の高血圧のためジョイデブプール中央病院入院
- 5日 フォスターファミリー会員に年賀状送付
- 11日 会社社長 ENGG. M. A. アフル氏より寄付を受ける
- 22日 マネージャー カバシアの入園希望児ヤミン宅を調査のため訪問
- 24日 男児たちにより山羊1匹を屠殺



- 27日 ユニオン(いくつかの村を集めた行政単位) 合同の小学校スポーツ大会が開催され、ホームの児童が7つの賞を取る



- 30日 6歳男児ヤミン入園
- 2月2日



サルナ小学校の校内スポーツ大会が開催され、ホームの児童は1つの賞を取る



- 8日 卒園女児モリヨム休暇を過ごすため学校から来園
- 14日 卒園女児モリヨム休暇を終え学校へ帰る
- 24日 又スラット喘息のためジョイデブプール中央病院へ入院
- 3月6日 会長来園
- 13日 カコンおばさん退職
- 15日 ザマン様児童スタッフに昼食を振舞うため来園



- 16日 会長、マネージャー NGO 局訪問、資金状況報告書を提出
- 18日 卒園女児ファルザナの状況を確認するため滞在先を訪問
- 18日 会長、マネージャー教育相談のためサルナ小学校、ハイスクール、カレッジを訪問
- 23日 6歳男児アッバス入園
- 27日 支援者小林レイ子様、深山医師来園
- 30日 会長、マネージャー NGO 局訪問、送金済み資金の引き渡し申請書提出



ホームドクター  
モハマッド シラジュル(シラズ)  
ホック先生

シラズ先生はホーム開設以来のホームドクターを務めて頂いています。最初は多少



の謝礼を払って週1回ホームへ往診して頂いていましたが、7年前経費節減のため往診をお断りしたところ、それなら病気になった者を診療所へ連れてくれば無料で見てあげようと言ってくださいました。お言葉通りその後引き続きお世話になっています。それも大勢の有料患者を後回しにしてまで優先的に診てくださいます。



シラズ先生のメッセージ

私はモハマッドシラジュルホック博士です。1994年7月23日以来サクラファミリーホームの子供たちとスタッフの診察をしています。この団体は Bangladesh の孤児や恵まれない子供のため教育、衣食住、医療などを与え各種の職を世話して社会人として自立するまで育てると言う重要な仕事をしています。

私はこの団体と共に働くことを誇りに思い、会長やスタッフの方々が私の熱意を分かってくださっていることを嬉しく思います。この団体の良き将来と発展を祈ります。

ジャハナラベゴム、バングラデシュ政府婦人児童省副書記官より

長年バングラデシュの貧しい孤児の子供たちの向上のために働いてきた中川恵資氏、日本バングラデシュ協力基金(JBCF)および中川トラスト会長、についてお話するのは私の喜びです。彼は最初この国の復興に協力するためのボランティアとして解放戦争の直後にバングラデシュを訪問しました。それに続いて、彼は1992年に日本バングラデシュ協力基金(JBCF)を設立しました。

プロジェクト、サクラファミリーホーム(SFH)は、日本政府、JBCFと彼の個人資産によって1994年7月に発足しました。

私は総理府のNGO局で副理事として勤務していたため彼と会うことになりました。私の公務の一環として、私は中川トラストのNGO登録を処理し、トラストが運営するプロジェクトSFHを訪問しました。

サクラファミリーホームは、バングラデシュの他の孤児院に比べてかなり異なっています。子供たちは学習、スポーツや文化的教育などについて様々な面でよき指導を受けながらSFHで育てら

れています。子どもたちは、思いやりのある母親の居る数軒の家に住んでいます。ここには運動場、図書館、コミュニティセンターその他の施設があります。子どもたちは主流の学校やカレッジに通学しています。中等教育終了後、子どもたちは通常トラストが斡旋した職業を提供され、国の育て上げられた市民としてホームを巣立ちます。



中川氏は頻りにバングラデシュを訪れSFHに滞在してホームの運営を監督円滑化しています。私は中川氏の高貴な努力は、このプロジェクトに協力しようとする私たちの多くを鼓舞していると信じています。このプロジェクトはバングラデシュの貧しい子どもたちの社会経済の発展に貢献しており、今後とも活動を継続するための財政支援をしてゆくべきと思っています。

コンピューター指導の  
アーメド ラズ先生の言葉

子供たちに優れたコンピューター研修のチャンスを与えているサクラファミリーホームのコンピューターの先生になったことは私にとって素晴らしいことです。そしてコンピューターの勉強にとっても熱心な生徒をもって大変幸せです。

生徒の高度な希望を叶えるこうした専門性と責任感に賞賛に値します。このような楽しい経験をしているという思いでSFHのコンピューターの指導をしていることは私にとってこの上ない喜びです。



サクラパソコン教室の開設準備中です。

サクラファミリーニュース2014年4月号でご紹介した米国在住の本多定晴様、エヴァンクロープ様のご提言によりサクラファミリーホームにパソコン教室を開設し、ホームの子供達のパソコン教育と共に近隣の児童、学生、社会人の生徒を募集し、その収入をホームの維持費に充てるという計画を立てました。

これを米国のグローバルギビングという団体の企画に参加するという方法で実施することに致しました。

グローバルギビングは、世界中のNGO団体からまず最初の企画(チャレンジと言う)を募集し、4000米ドル(48万円)以上の予算で40人以上の募金者から資金を集め計画を実施・実現できた団体に対し、別途大企業から受けた巨額の寄付金の一部を分配してくれるという団体です。

この度、本多・エヴァン両氏のご努力でグローバルギビングに企画書を提出・受理されるまでに至りました。この企画が認められれば7月中の1か月の期間で実行・完成させねばなりません。

日頃会費や寄付金で大変お世話になっている会員・協力者各位にはこの企画に対し更なるご寄付をお願いするのは心苦しいので、極力他の方法で募金を募る予定ですが、もし関心を持って下さる方がありましたらお申し出頂ければ有難く存じます。この募金は当会ではなくグローバルギビングへ直接送金することになりますので、ご協力頂ける方には別途送金方法をお知らせ致します。

続 ベビーの結婚式 (前2014年10月号より続く)

新郎新婦と近親者数名を乗せた車が、すぐ近くの新郎の実家へ到着しました。

新郎の姉が中庭(土で土間のようにになっている)に新婦を立たせ細かくした特別の干し草や水を頭や足に振りかけて清めた後、抱きかかえて家の中へ連れて行きました。

そこで新婦と小さな子供たちで人形遊びをします。子供ができたときの準備の意味です。

その後新郎の母がミスティ(ベンガルの甘いお菓子)を新郎新婦や周りのものに食べさせます。そして手を洗い口を漱いだ新郎新婦に食事を振舞います。

ラウドスピーカーが深夜まで音楽や歌を奏でます(バングラでは騒音障害という観念は全くありません、多少文句を言う人はいます)。

翌日近親者が新郎新婦の体を洗った後、中庭に作られた80cm四方の小さい池の周りに皆が座り、新郎組と新婦組(メンバーはいず

れも新郎側の親類縁者です)に分かれてゲームをします。池の底の泥の中へ新婦組がコインを隠し新郎や新郎組が探します。新婦を養う金銭力があるかどうかを確かめる意味があるようです。また泥水や色つき水を掛け合ったりもします。その後水浴した後中庭から家の中まで黄色のサリーを敷いて、その上を葉っぱで顔を隠した新婦を新郎が抱きかかえて2人の部屋へ連れて行きます。

新婦の姉(母代り)が彼女が実家へ来た時のそのサリーを洗います。

昼食時来訪者には豪華な食事が振舞われます。

夕方迎えに来た新婦の近親者と共に新婦は実家へ行きます。新郎や新郎の弟や妹も同行します。そこでは豪華なパーティが行われます。

夕方新郎の母が新婦を連れ戻しに来、新郎や弟妹たちも一緒に帰ります。

以上で一連の行事は終了です。ベビーの結婚式は比較的質素に行われたようです。

県展のお知らせ

今年も神奈川県美術家協会主催、三菱UFJ国際財団他後援の美術展「県展」にホーム児童の絵が招待を受けました。是非、著名美術家の作品と共にサクラファミリーホームの子供たちの絵をご鑑賞下さいますようお願い申し上げます。

会期：4月29日(水)～5月4日(月)  
 時間：10:00～18:00  
 (初日10:00～、最終日～14:00)  
 会場：横浜市民ギャラリー  
 〒220-0031 横浜市西区宮崎町26-1  
 TEL：045-315-2828



サクラファミリーホーム児童2015年県展応募作品

※太字は呼び名

番号	氏名	題名	年齢	学年
1	モハマッド フィローズ ホセイン	ポッターの人生	16	10
2	モハマッド ハフィズル イスラム	夏	15	9
3	アブドゥル ムタリブ シハブ	スイレンの摘採	15	9
4	モハマッド アルアミン	フットボールの試合	14	9
5	モハマッド ルベル ホセイン ジョイ	魚取り	14	8
6	モハマッド ラセル アーメド ラハト	たそがれ	11	5
7	モハマッド ファヒム ファド シファット	村の生活	11	5
8	モハマッド ロフィクル ハサン シアム	野生動物の風景	10	4
9	モハマッド ラビ ビツヤス	クワカタ海岸の風景	9	3
10	ラキブル ハサン ロニー (ラキブ)	馬車	10	3
11	タンビール マハタブ マムン	茶園の風景	10	4
12	モシャマッド ロクサナ スルタナ ニパ	船旅の喜び	17	10
13	モシャマッド アリサ ヤスミン ショナリ	花嫁を運ぶ駕籠かき	17	10
14	ラジア スルタナ ドウリスティ	セントマーティン島の風景	17	10
15	ジャスミン スルタナ ミタ	春	14	7
16	ライシャ ムンタヒン (ミトウ)	ジュート(黄麻)工場の風景	13	7
17	スマイヤ ベゴム	村の家の風景	9	3
18	ヌスラット ジャハン ヌブル	自然の風景	9	4
19	ライナ メヘリーン (シャンタ)	虹の風景	8	1
20	タハシナ ヤスミン ケヤ	バングラデシュの地図	10	2
21	タイエバ ファルザナ	日の出の風景	5	保育課程
22	ナズニン アクタル	虹の風景	4	保育課程
23	モハマッド ザヒドゥル イスラム シャヒン	猿の世界	11	2
24	ジョリフ アーサン ジョニー	美しい家と舟の風景	7	1
25	モハマッド ヤミン ショルカール	お花畑	5	保育課程
26	ライマ メヘザベン モリヨム	川の風景	4	保育課程

事務局より

サクラファミリーニュースは最近現地より発送しておりますが、今回は県展の開催日に間に合わせるため、現地で印刷・封入したものを日本へ持ち帰り発送致しました。この機会に現地発送分の到着状況をお伺いしたいと思います。前号でお伝え致しました通り、日本発の郵便物は特に何か品物の様なものが入っていると殆ど着きません。現地発の封書は返送状況からして、住所不明の場合以外問題なく着いていると判断しておりますが、現実として状況は如何でしょうか？当会からは年2回のサクラファミリーニュースとフォスターファミリー会員様には更に年2回の児童よりのお便りを差し上げております。もしこの予定通り到着していない方がおられましたら是非事務局までご一報ください。不着がある程度多いようでしたら今後の現地発送を再考したいと思います。ご協力の程宜しくお願い致します。

SAKURA FAMILY NEWS

2015年4月発行 通巻37号

特定非営利活動法人 日本バングラデシュ協力基金

事務局：業務/月～金、10時～16時  
 住所：〒286-0114 千葉県成田市本城 83-40  
 TEL：0476-33-4839 FAX：0476-33-4859  
 E-mail: sakura-jbcf@kss.biglobe.ne.jp  
 URL：http://www.sakura-family-home.org

郵便振替口座：名義/特定非営利活動法人 日本バングラデシュ協力基金  
 口座番号/00170-6-766054  
 会費：正会員/月額500円  
 賛助会員/1口月額500円  
 フォスターファミリー会員/1口月額1,000円

SAKURA FAMILY HOME: SOUTH SALNA, SALNA BAZAR, JOYDEBPUR, GAZIPUR, BANGLADESH Phone: 880-1714133035

SAKURA FAMILY NEWS



特定非営利活動法人 日本バングラデシュ協力基金



入園・入学

ライマメヘザベンモリヨム

12月4日、4歳の女兒ライマが入園し、小学校の保育課程に入学しました。彼女は3人姉妹の三女です。父親は4年前に失踪、母親は家政婦をして育てていましたが、娘達の学齢が進みこれ以上は育てられないとホームに養育を依頼されました。



ライサムンタヒンミトウ

12月17日、12歳の女兒ミトウが入園し、ハイスクール7年生に入学しました。彼女はライマ姉妹の長女です。大人しい性格でマの手伝いも良くします。



ライナメヘリーンシャンタ

12月17日、7才の女兒シャンタが入園し、小学校1年生に入学しました。彼女はライマ姉妹の二女です。入園前に1年生を終了したとのことで



すが、学力を見て再度1年生に入学させました。

ラムジャンアリラフィ

12月30日、1年5か月の男児ラフィが入園しました。父親は彼が7ヶ月の時死亡、母親は人から仕事を貰って生活し彼を育てる余力がなく、ホームに養育を依頼されました。誰にもすぐなつき可愛らしいのでみんなから愛されています。



ヤミンショルカール

1月30日、6歳の男児ヤミンが入園し小学校の保育課程に入学しました。彼は父親が4年前に死去、母親が育てていましたが細やかな家政婦としての収入ではヤミンを入学させることもできず、ホームに養育を依頼されました。メグナ家の一員となりましたが、おとなしい性格で家族とも仲良く家庭生活を楽しんでい



ます。

アッバスアリ

3月23日、6歳の男児アッバスが入園し、小学校の保育課程に入学しました。母親が5年前に死去、父親は半身不随で両足と右手が使えず車椅子を使ってモスク(イスラム教寺院)に寄宿し、人々の援助で生活しています。これまで新入園時はその日の内にホームに慣れてしまいましたが、アッバスは10日間位は時々泣いていました。別の施設に引き取られた兄と別れたのがつらかったのかもしれませんが、今ではすっかり他の児童とも打ち解け楽しく生活しています。



注 バングラデシュでは学力の無い女性が夫が死亡したり別れた場合低賃金の家政婦として生活するしかなく、ホームに子供の養育を依頼するのはそんな境遇の女性が多いようです。

卒園・就職

シブリーアーメド

シブリーは9年生を終了しましたが、これ以上の勉学より手に職をつけて自立したいとの希望から、12月に始まる自動車修理の技術研修を受けるべく待機しておりました。その間を利用して縫製工場アルバイトをしていましたが、すっかりその仕事が入り正式に就職することに致しました。12月31日送別会を催し卒園となりました。彼は今の生活に大変満足しており、経験を積んだ後さらに良い仕事につきたいと張り切っています。



就任

コニカアクタル

12月8日、おばさん役としてタンギル出身のコニカさんが就任しました。彼女はBRACスクールという初等教育の寺子屋の先生をした経験があり、大変礼儀正しく仕事熱心でよき母親になってもらえるかと期待しています。



結婚

10月24日、卒園生スイティが結婚致しました。夫は技術者。本人はアーロンという贈答品専門のデパートで結婚後も販売員の仕事を続けています。



秋田支部懇親会

この度、中川会長さまが私達を訪ねて下さり、サクラの皆様の動画を拝見致しました。皆様の元気に明るく成長されている様子に大変うれしく思います。これからも一生懸命勉強して日本の教育を受けたり、仕事を体験に来てほしいと思います。私達も出来るだけ皆様を支援して参ります。自分の為にも国の為にも頑張ってください。

長田 健一



左から  
山岡美子  
長田幸子  
金田礼子  
桜井ノブ子  
鈴木喜亮  
中川恵實  
長田健一  
桜井 巖  
佐藤 晃  
伊藤万治郎  
金田 司